

## 令和3年度 第19回高校生シンポジウム実習受入研究室募集 ご協力をお願い

理事会 企画委員会委員長 中井光男

プラズマ・核融合学会では、平成15年から「高校生シンポジウム」を開催して参りました。このシンポジウムでは、高校生が日頃行ってきた科学研究の成果を発表してもらい、優秀な研究発表に対して表彰を行っております。これまでのシンポジウムでは大変すばらしい研究発表が行われています。

一方、近年の研究発表内容は、そのほとんどがプラズマ以外の研究テーマとなっております。当学会では、より多くの高校生にプラズマや核融合に興味を持ってもらい、プラズマ研究、核融合研究の面白さを伝えるとともに、高校生に学習の場を提供し、広く啓発活動を進めていきたいと考えております。

そこで、平成30年度の第16回高校生シンポジウムより、全国規模でプラズマ・核融合に関係する実習の場を高校生に提供して、その実習・研究内容を高校生シンポジウムで発表してもらおう機会を作ることといたしました。新しい試みで実施した第16回・第17回高校生シンポジウムは大盛会で、参加した高校生からも、受け入れた研究室の指導教員からも好評でした。残念ながら、令和2年度は、COVID-19の感染拡大に配慮し、学会を通しての実習の受け入れは行いませんでした。令和3年1月23日にオンライン形式にて開催されました第18回高校生シンポジウムでは、12件の優れた研究成果が発表され、そのうち2件が、プラズマを扱った報告でした。令和3年度に実施する第19回では、是非とも、実習を再開させていただきたいと考えております。

まだまだ、新型コロナの感染の終息は見えておらず、最終的にはどのような形式での開催となるかは、予断を許さぬ状況ではありますが、次回(第19回)以降も、さらに受入研究室を増やし高校生が実習を受けやすくするために、高校生への実習を担当して頂ける研究室を広く募集いたします。おおよその流れは以下のとおりです。

- ① 実習を担当する研究室の実習内容を学会ホームページにて掲載(3月末以降順次)し、参加高校を募集
- ② 高校から学会に応募(5月初旬頃)
- ③ 応募した高校と希望研究室との相談により日程を決めて、1~2日程度の実習とデータ解析、発表準備の指導(実習は、長期休暇中が多い。オンラインによる準備指導も可)

ご協力頂ける研究室は、学会事務局までご連絡をお願いいたします。また、シンポジウム実施日に予定しております見学だけでも、受け入れ可能ということでしたら、ご連絡いただければ幸いです。

ご不明な点がございましたら、下記問い合わせ先までご連絡ください。

### 第19回高校生シンポジウム

開催日：2022年1月末(予定)

開催場所：未定(現在、対応可能な大学・研究機関を打診しております)

問い合わせ先：プラズマ・核融合学会事務局

Tel 052-735-3185

E-mail: plasma@jspf.or.jp

#### 高校生シンポジウムにおける、プラズマ実習受入予定研究室(2021年2月現在)

北大(佐々木研)・東北大(金子・加藤研)・宇都宮大(東口研)・筑波大(坂本研)・東大(江尻・辻井研)・日大(浅井研)・日大(荒巻研)・東工大(近藤研)・富山大(波多野研)・金沢大(上杉・田中研)・核融合研(吉村信研)・名大(大野・梶田・田中研)・名大(豊田研)・京大(門研)・京都工芸繊維大(比村・三瓶研)・阪大(上田研)・兵庫県立大(永田・福本研)・兵庫県立大(菊池研)・広島大(難波研)・広島大(桧垣・伊藤研)・愛媛大(神野研・前原研)・九大(出射研)・九大(花田研)